

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	難治性視神経炎における免疫グロブリン製剤および生物学的製剤の使用状況・治療効果についての多機関後方視的研究
受付番号	1073
当院の研究責任者(所属)	徳永恵子(脳神経内科)
研究協力者(所属)	石川均(北里大学病院眼科/医療衛生学部)、橋本雅人(中村記念病院眼科)、篠原洋一郎(群馬大学眼科)、中馬越清隆(筑波大学神経内科)、鈴木重成(獨協医科大学眼科)、山上明子(井上眼科病院)、木崎順一郎(昭和大学眼科)、井上裕治(帝京大学眼科)、毛塚剛司(東京医科大学眼科)、敷島敬悟(東京慈恵会医科大学眼科)、高橋洋平(東京女子医科大学眼科)、相原一(東京大学眼科)、松本直(東邦大学医療センター大森病院眼科)、舟木俊成(日本赤十字社医療センター眼科)、福地健郎(新潟大学眼科)、横内裕敬(千葉大学眼科)、黒川徹(信州大学眼科)、鳥山佑一(長野赤十字病院眼科)、大塚光哉(富山大学眼科)、彦谷明子(浜松医科大学眼科)、中村誠(神戸大学眼科)、奥英弘(大阪医科薬科大学眼科)、木村亜紀子(兵庫医科大学眼科)、中野絵梨(京都大学眼科)、三木淳司(川崎医科大学眼科)、福田憲(高知大学眼科)、曾我部由香(三豊総合病院眼科)、田村弘一郎(大分大学眼科)、中馬秀樹(宮崎大学眼科)、今永直也(琉球大学眼科)
研究期間	2022年12月1日～2027年8月31日
調査データ対象期間	2020年1月1日～2022年8月31日
本研究の目的	視神経炎という疾患に対しての治療方法として、ステロイドという炎症を抑える薬剤が、従来第一選択として用いられていましたが、効果が十分でない場合、難治性視神経炎と診断します。 この疾患に対して、新たに免疫グロブリン製剤・生物学的製剤という薬剤が保険適応となり使用されています。これらの薬剤の使用状況について全国的な調査を行うことで、患者さまの適応、具体的にはいつ、どのくらいの量、どのくらいの期間、使用するかを明らかにすることを目的に研究を行います。
対象となる患者さん	調査データ対象期間に当院を受診され、難治性視神経炎と診断され、免疫グロブリン製剤または生物学的製剤を投与された患者さん
利用する試料・情報	年齢、性別、脊髄炎有無、COVID-19ワクチン接種の有無、眼科的検査(視力、視野、光干渉断層計、中心フリッカー値)

	血液学的検査（抗アクアポリン4抗体、抗MOG抗体、各自己抗体） 画像検査（視神経MRI） 臨床情報（薬剤投与による有害事象、併用療法の内容、薬剤使用量）
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り 提供先：北里大学病院・病院長 高相晶士 提供方法：郵送または電子的配信
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
倫理審査等の経過	北里大学医学部・病院倫理委員会、観察・疫学研究審査委員会にて 2022年11月22日に承認
公開日	2022年12月30日
オプトアウト期間	<input checked="" type="checkbox"/> 公開日から1か月 <input type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から1か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111（代表） 上尾中央総合病院 脳神経内科 副科長 山野井貴彦